

学校教育目標  
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒  
協力 協力し、励ましあう生徒  
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.7

令和4年 7月19日

市川市立第八中学校  
校長 岡 良和

☆スマホで見やすくレイアウト変更しました☆

## 第二回学校運営協議会報告 ＜7月12日開催：協議内容＞

### これからの時代の制服について

八中では、現制服（学ラン・セーラー）の見直しを検討する時期と考えています。本会議でも過去2回にわたり、昨今の社会情勢を伺い、委員の皆様と今後の制服のありかたについて協議してまいりました。

6月には、2学年生徒・保護者に「制服について、どれが適切と思うか」との意識調査を実施し、参考にすることとしました。

	生徒	保護者
学ラン・セーラー	22.9%	23.9%
男女兼用指定制服	31.3%	34.3%
男女兼用標準スタイル	9.9%	29.9%
私服	33.6%	8.2%
その他	2.3%	3.7%

また、生徒の考え方を反映す

るために、生徒会本部役員と校長で「八中の後輩たちに着てほしい制服」について座談会を行っています。（3回実施し、今後も継続予定）

制服の見直し検討の際、引き続き次の三つのキーワードを中心に協議してまいります。

#### ①機能性

◇着やすさ、着心地（学ランの窮屈さ、セーラーの脱ぎ着しづらさの解消）  
◇洗濯など扱いやすさ  
◇素材（伸縮性、撥水性、抗菌加工等）

#### ②多様性

◇様々な考え方や性的マイノリティー等への対応  
◇スラックスとスカートを選べる男女兼用タイプ導入（中学校入学時期に、スカートを着る抵抗感から不登校になる女子の事例が全国的に

みられる 八中でも男女兼用制服の必要性が問われる事例がみられる）  
◇ネクタイ、リボンについて「不要」「ネクタイに統一」「着脱を自由に選べる」などから検討

#### ③経済性

◇今の学ラン、セーラーの価格より、できるだけ安価なものを選定  
◇円安と急激な物価上昇を懸念し、制服メーカーが値上げを打ち出す前に価格交渉を始める  
◇姉から弟へ、卒業生から在校生へ、ブレザー、スラックスの着回しができるなど、男女間のリユースの可能性を検討

三つのキーワードに加えて、  
◇冬服上下のモデルを決めた後に、それに合わせるワイシャツ、ポロシャツ、ネクタイ、リボン、夏服などオプションパーツの取り扱い方を検討

◇夏服については、暑さ対策として体操服・ジャージ登校を認めることが定着し、着る機会が少ないため、必要性の有無について検討

以上のことに留意し、教職員、

在校生・保護者、ブロック小学校5,6年児童・保護者に制服メーカー3社のサンプルと機能性・多様性対応・価格の面から比較ができる資料を提示し、意識調査をアンケート形式で行い、結果分析から、今後の制服選定の参考にすることといたしました。

また、制服メーカーの材料準備および採寸・製造に要する期間の関係から、毎年秋ごろには、次の年度の制服モデルを発注しています。制服モデルチェンジの時期を決める際には、この条件も考慮してまいります。

なお、仮にX年度新入生からモデルチェンジするとして、在校生は、現行の学ラン・セーラーを卒業まで使用しますが、在校生のご家庭から「モデルチェンジした制服を着たい」というご相談があった場合の対応も今後検討することとします。

#### 通知表についてお知らせ

市川市の方針に準拠し、校長印・担任印・保護者印の押印欄を廃止しました。

今学期は、通知表の総合所見に替えて、お子様の学校生活の様子を三者面談の中でお伝えすることとしています。